

明治村 だより

1997 Spring



春号
Vol.7

平成九年四月十八日発行(季刊)

明治村だより 第七号



製作
求龍堂

平成九年四月十八日発行
「明治村だより」第七号(平成九年春)
発行
博物館明治村
愛知県犬山市大字内山一番地
電話〇五六八六七〇三二四 千四八四
東京事務所
東京都千代田区紀尾井町三二二三
文藝春秋ビル新館七階
電話〇三三三二六三二五五六六 千一〇二

「明治村だより」
第八号平成九年夏発行のお知らせ
発行時期 平成九年七月(予定)
申込方法 「明治村だより」第八号ご希望の旨及び
ご住所・お名前を明記の上、送料一九〇
円分の切手とともに封書にてお申し込
み下さい。

表紙・楊洲周延画貴顕牡丹華遊覧部分
特別展「錦絵でみる明治の風俗」より

目次	
特別展	
錦絵にみる明治の風俗……………	2
自転車の名付け親 寅次郎 齋藤俊彦……………	7
春の特別企画	
明治村 文明開化百景……………	12

この特別展示は、明治の世相を如実に物語る資料として館蔵の錦絵と風俗画報を取り上げ、これらに描かれたさまざまな風俗を紹介することを主題としています。錦絵は多色刷りの木版画で江戸時代の浮世絵の流れを汲むものですが、美人画や役者絵を中心としたそれまでの題材から発展して、幕末の風俗、すなわち長崎・横浜の居留地に於ける西洋人の生活や、明治になって新たに移



文明滑稽寿語録

特別展

錦絵にみる明治の風俗

—開化のすがたと四季のあそび—

◆5月5日まで

入した文明開化風俗たとえば蒸気機関車・人力車などの乗物、西洋館の街並み、洋装スタイルの婦人など幅広くそのテーマに選ばれているのが特徴です。およそ近代的な画法・構図であるとは考えられませんが、見てわかりやすく楽しいという面はあります。

描かれている風景は、主に都市部が多く、地方から上京する人々が土産として買い求めたことにより、全国的に流行しました。風俗画報は明治二十二年の憲法公布を記念して二月十日に創刊された月刊雑誌です。今でいうところのいわゆるヴィジュアルマガジンの体裁をとり、多くの絵や写真をさし絵として掲載しました。内容は主に江戸時代の風俗考証と、新しい時代となった東京の市井風物あるいは特色ある地方風俗を紹介したものです。また当時の画期的な出来事、すなわち博覧会・災害・祝典・戦争に関しては特集号を組んで大々的に取り上げました。そのため各種事件をただちに記事にして載せるといふ速報性によって読者層を大幅に広げました。この特色を最大に生かすものが、木版画よりもリアルで鮮明な表現をもつ色刷り石版画によるさし絵で、編集者としてはこの分野に非常に力を注ぎました。この石版画の下絵制作には当時大衆といわれる画家を次々と登用し、のちに南画系の画家・山本松谷がさし絵を一手に引き受け、明治の生活風景をいっきと描き続けました。

明治の時代をよくあらわすこの二つの資料から文明開化風物詩と明治の四季という展示構成のもと、錦絵三十九点、風俗画報(写真を含め)三十一点を展示しています。以下主な展示資料の一部をご紹介しますと思います。

文明開化風物詩

開化のすがた

文明滑稽寿語録 芳幾 明治初期

文明開化を象徴する馬車・西洋館・カメラ・気球などの珍しい図が多く盛り込まれている双六です。人力車が転倒したり、洋犬に噛みつかれそうになっている滑稽な一コマがあり、いわゆる西洋かぶれに対する若干の揶揄をこめて描かれています。

新奇の娯楽

チャリネ大曲馬御遊覧之図 周延 明治十九年

日本にはじめてサーカスが登場したのは幕末期の横浜で、アメリカの一座が来日して興行を打ち、曲馬・玉乗り・ブランコ・輪乗りなどが演じられました。明治五年に京都で博覧会が開催された時、フランスの曲馬一座が来日し、スリルとスピードにあふれた曲馬芸を披露して評判をとりました。当時我が国でも軽業・曲芸の見世物は庶民の娯楽として全盛を極めていましたが、主に人間の芸が中心であったので、馬など動物を使った大規模な興行はとりわけ珍しく、人々の興味を惹いたと思われる。

この錦絵は、明治十九年来日したイタリアのチャリネ曲馬一座の天覽興行を描いたものです。



チャリネ大曲馬御遊覧之図

明治の物売り

蓄音器屋 風俗画報 四〇一号 明治四十二年

最近では殆ど見られなくなった物売りですが、江戸時代から明治・大正時代には実にさまざまな物を街中で売り歩いたものでした。風俗画報には「東京市中世渡り草」と題して多くの物売りの姿を写真版で連載しています。売り歩く物は菓子類などの食べ物が一番多いのですが、とりわけ興味深いのはこの蓄音器屋です。当時蓄音器は非常に高価で庶民の手の届くものではなかったため、こうした商売が登場しました。縁日など人の集まる場所の街頭に器械を置き、一回二、三銭(ちなみに明治三十年、四十年当時そば一杯が二銭でした。)で蠟管レコードを聴かせました。写真に見られる何本も垂れ下がったゴム管は、耳管といってレシーバーになっています。



蓄音器屋

明治の四季

四季の区別が顕著な我が国では、季節毎に特色ある自然風景を愛でることが一般的で、詩歌や絵画など文学・芸術分野でもこの感覚は重要な要素となつていきます。明治の四季がどのように描かれているか、錦絵の世界からかま見たいと思います。

明治の春

墨田花高貴ノ遊覧 周延

上野公園開花園 周延

明治二十一年

春と言えはまず花、それも桜をさすことが多く、古代より桜は日本人に愛されてきました。以前は野山の自生の桜を観賞することが中心でしたが、江戸時代になると方々に桜が植え付けられて、全国各地に名所といわれる場所が出現しました。明治時代の東京における桜の名所という上野・向島・小金井・荒川堤・飛鳥山などが有名で、開花の時期になると花見客がどっと繰り出して大層賑わいました。これは現在でも受け継がれているようです。



上野公園開花園



墨田花高貴ノ遊覧

明治の秋

秋園の菊花 周延

美人十二ヶ月 紅葉 春汀 明治二十一年



秋園の菊花

者の似顔や昔の武将に見立てて人気を博しました。東京では団子坂の菊人形が有名で夏目漱石の小説などにもその描写があります。全盛期は明治十年頃で、四十年代になるとやや下火となりましたが、娯楽の少なかった明治の人々にとっては楽しみな秋の行楽のひとつであったようです。

秋の景色は菊・紅葉などで鮮やかに彩られます。この時期菊花を見せるとともに明治になつて盛んになつたのが菊人形といわれるものです。その仕組みはまず竹で骨組みを作り人形の頭と手足を付け、中に土付の菊株をござで巻いて入れ込み花と葉を外へ出して好みの形に編み上げていくというもので、日本ならではの器用な細工仕事です。年毎にいろいろ趣向を凝らし、役

明治の夏

高貴納涼ノ図 周延 明治二十年

蛭狩り 風俗画報四十三号

明治二十五年

夏の風物詩は何といつても暑さをしのぐことを目的とした納涼が中心で、花火や蛭狩りがあげられると思います。両国の花火は江戸時代に盛んとなり、川面一杯に屋形船を繰り出し飲食・音曲を交えてそれは賑やかな情景でした。蛭については近年生息数が激減し、ごく一部の場所で見られなくなりましたが、かつては日本中至る所に見られたものです。冷房設備のない時代、屋外で涼しく過ごす工夫をした明治の人々の生活が偲ばれます。



蛭狩り





梅園唱歌図

明治の冬

雪中梅莊群兒遊戯図 周延 明治二十年
梅園唱歌図 周延 明治二十年

冬の情景は白一色の雪景色に代表されます。雪の清浄さと静寂を愛でて、そこに落ちていた風情を感じ取っています。また雪合戦は現在でも変わらない子供の楽しい遊びのひとつです。冬の花である梅も桜とともに人々に愛されています。これも各地に名所があり、人々はやがて訪れる春の息吹を感じながら梅の花と香を堪能します。

年々歳々自然環境もそれを取りまく人々も変わりゆくなか、明治という時代ははるか遠くになりつつありますが、四季を愛でるといふ日本人の心情は何ら変わることはありません。これらの展示資料から明治時代の心象風景をおくみとりいただけたら幸いです。



雪中梅莊群兒遊戯図

〈春の特別企画〉

明治村 文明開化百景

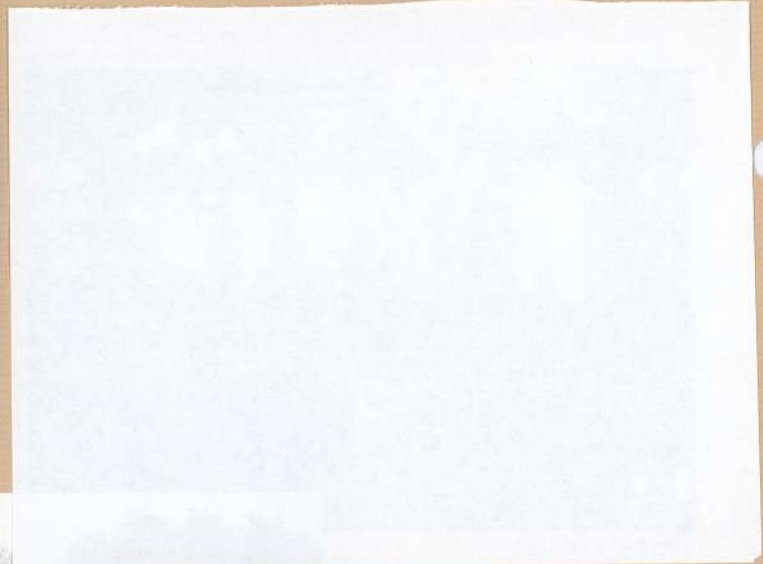
食べて、遊んで、一日まるごと明治人

5月5日(祝)まで

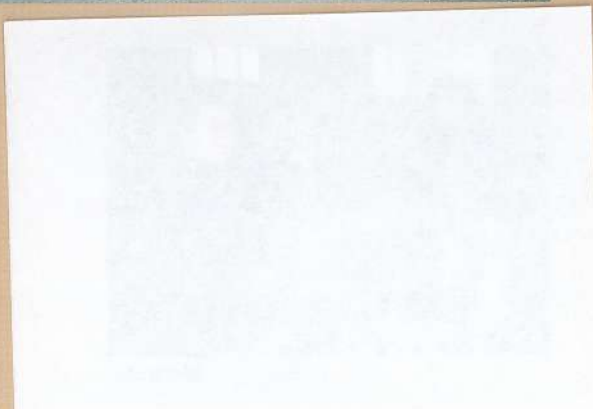
*開催の日時・場所など、詳細については事前にお問い合わせ下さい。



洋食屋「浪漫亭」



屋台開設



明治の味を再現

明治の洋食屋「浪漫亭」開店
明治の屋台開設
明治の病院食・監獄食・軍隊食体験
土・日・祝日 各日1種類

明治村レンガ通りをリニューアル

札幌電話交換局(重要文化財)
安田銀行会津支店
京都中井酒造
東松家住宅(重要文化財)
清水医院
東山梨郡役所(重要文化財)
第四高等学校物理化学教室
千早赤阪小学校講堂



札幌電話交換局 明治の電話機・交換機体験室



京都中井酒造



安田銀行会津支店 喫茶室開設



清水医院



東松家住宅



明治村 文明開化百景

食べて、遊んで、一日まるごと明治人

〈春の特別企画〉

変身、私も明治人

明治衣裳貸出し
ウエディングドレスで記念撮影

明治なんでも体験

懐かしい屋外の遊びを楽しもう
懐かしい屋内の遊びを楽しもう

懐かしい大道芸を楽しもう
土・日・祝日

明治の自転車に乗ってみよう
気球に乗ってみよう

4月27日、5月3日
明治の人力車に乗ってみよう
日・祝日

明治のS1の運転台に乗ってみよう
木製カメフラで撮影しよう

明治の電話機でお話ししよう
明治の教会で音楽を聴こう

4月27日(日)
明治の蓄音機やオルゴールを聴いてみよう

懐かしいおもちゃをじっくり遊ぼう

日・祝日

ガラスを使って工作しよう

明治村の樹木で布を染めよう

日曜日

明治の機で布を織ろう

土曜日

明治村日本庭園(通常非公開)で野点を楽しもう

4月27日〜5月5日の日・祝日

日曜講座「明治建築種あかし」

4月27日(日)

明治村食堂1階と
ミュージアムショップをリニューアル!

